



Higashi Sapporo  
Hospital's  
Newsletter MADO

April 2021 No.105

## 新年度、新規入職者を迎えて

副理事長・病院長 西山正彦



新年度が始まりました。当院でも、医師・歯科医師5名、看護師20名を含む計32名の新規入職者を迎え、例年通りのオリエンテーション研修が始まっています。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の渦中にあっても、従来と何ら変わらない日常があり、期待に満ちた新規入職者を迎える部署だけでなく病院全体が活気に満ちています。

新年度ですので、COVID-19の話題を少し離れて、新規採用された若い方々が病院の中核となってくる近未来の医療について考えてみたいと思います。キーワードはやはりAI（人工知能）です。AIは人間が到達できないほどの効率化、精度の向上を医療にもたらします。その導入は、医療とケアの質を劇的に高め、保健監視、疾患予測、診断、治療、患者サービスなどあらゆる領域で、人間が想像もつかないようなアプローチをも生み出す可能性を有しております。想像以上に急速に汎用化が進むと予測され、まさに“AIが診断を支援し、ロボットで手術、病気はアプリで治療する”時代が早晩到来することになると思います（デジタルヘルス未来戦略ウイズコロナ編<sup>®</sup>）。

当然、医師をはじめ医療者の役割は大きく変わります。AIの下僕になるのではなく、これを使いこなし、AIではできないことを行う、すなわち、患者さんの病態を「正確に情報化」し、患者さんを「適正に分析」して、「高い医療技術」を提供するとともに、必要な事項について「説得」し、そして「責任を取る」、ことがその役割となります。ただ、その基本はやはり、患者さんとのコミュニケーションと信頼関係の醸成にあり、重要なのは今と変わらず「声なき声まで聴く」医療者としての姿勢です。

また、どんなに医学・医療が進歩しても、疾患はなかなかしたたかです。人類の歴史はまさに疾患・感染症との戦いでした。その時点で難治性とされる疾患が「治る」ようになれば、COVID-19のようにまた新しい難治性疾患が登場します。どの疾患も、医学の進歩とともに、「死か生か」、「治るか治らないか」、「治るか治らないが長く生きられる」、そして最終的に「治る」という過程を経ることになります。医療の本質は、いずれの段階でも幸せに生きられるようサポートすること、癒すことにあり、「治す」がゴールじゃない医療も常に求められているのです。AIも、将来は病気を治すためだけではなく、患者さんの生き方をサポートしたり、幸福感を増すことを目的とした開発へと進んでいくものと思われれます。

「防げるものは防ぎ、治せるものは治し、治らなくとも和らげ、常に癒す」、医療の基本は時代に左右されません。本院の理念は「やさしさ」です。38年前に掲げられたこの理念はまさに永久に変わらない医療の本質を捉えたものです。このことを新規入職者も含めた全職員とともに再度肝に銘じ、新たな、そして輝く東札幌病院を創っていきたくと考えております。

Higashi Sapporo Hospital  
医療法人  
東札幌病院

2021年4月発行  
発行責任者／病院長 西山正彦  
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35  
TEL.011-812-2311（代表）  
FAX.011-823-9552  
E-mail：info@hsh.or.jp  
HP：http://www.hsh.or.jp

# World Cancer Dayを終えて

理事長 石谷 邦彦

(UICC日本委員会ニューズレター依頼原稿より)

2000年2月4日World Summit Against Cancer for the New Milleniumがその理念をパリ憲章として採択し、それを記念して2月4日がWorld Cancer Dayと定められた。UICCは2005年からWorld Cancer DayにWHOなどの国際組織の支援を受けながら世界的なキャンペーンを行ってきている。UICC日本委員会も同様に活動して来たが、今年は激しく進化した様相であった。一つは16都道府県に渡るlight up the worldに俳優・吉永小百合さん、音楽家・坂本龍一さんを交えたillumination lightsとtalk sessionである。なんとも煌びやかなひと時であった。今一つは12のcatch copyに基づく学際的なtalk sessionである。私もその一つ「支える、supporting:がん在宅医療を支える」の司会の大役を果たしたが、吉永小百合さんがこのeventに登場した訳は、近々放映される映画「いのちの停車場」で彼女が在宅医療に身を投じる女医を演じるからであった。そのテーマは“たとえ病気を患っても残された人生をその人らしく生きるを支える”であろうか。

最近のUICCの活動を見るにつけ、細胞病理学の祖、かつがんの刺激説を唱えたルドルフ・ウイルヒョウ(Rudolf Virchow)博士の軌跡を思い起こさずにはいられない。彼は1848年26歳時チフス大流行の調査のためドイツ、プロイセン王国から現在のポーランド領オーバーシュレジエン地方に派遣され、その死者は富める者ではなく貧しい者達であることを報告し、公衆衛生学を説き、「医学とは一つの社会科学であり、さらに政治は広義の医学に他ならない」と述べている。以来医学者として多くの業績と地位をなしたが、同時に宰相オットー・ビスマルク(Otto Bismarck)の政敵としても活躍した。(市野川容孝「社会科学」としての医学、思想、2001.6、2002.7)山際勝三郎先生がウイルヒョウ博士のもとで学び人工がん発生の偉業を成し遂げたことは言うに及ばない。UICC日本委員会はその流れを汲み吉田富三先生、菅野晴夫先生が1966年に東京で第9回UICC Cancer Congressを開催している。つまり学際的な研究とともに、ウイルヒョウ博士の示唆した社会科学の活動の一端が今年のUICC日本委員会のWorld Cancer Dayの活動であったと言うのは我田引水であろうか。

(この小文が今のCOVID-19 pandemicに参考になれば幸いである)

## 2021年4月に当院に着任した5名の 医師を紹介します。



内科系  
包括治療センター長  
**鳥本 悦宏**

初めまして。旭川医科大学病院腫瘍センターから参りました鳥本悦宏（「よしひろ」と読みます）です。東札幌病院では、内科系包括的治療センター長という立場で働かせていただくことになりました。

旭川医大を卒業後第三内科に入局し、消化器疾患の研修をした後、札幌医大第一病理教室で免疫の基礎研究をさせていただきました。その縁で米国ボストンでの留学の機会を頂きました。大学に戻ってしばらくは主に肝臓病を中心に消化器診療に携わっていましたが、札幌医大第四内科から新たな教授を迎えたことをきっかけに血液・腫瘍内科を担当することになりました。その際、札幌医大第四内科で3か月間勉強させてもらったのが、がん患者さんを診療することの始まりです。ここ10

数年は腫瘍センターに移って、より管理的な立場で外来化学療法センターやがん相談支援センターの運営、セミナーの開催やがん教育などの啓もう活動、がん遺伝子パネル検査の体制整備といったことを中心に活動してきました。

本院は、札幌医大出身の先生が多い病院ですが、札幌医大第一病理、札幌医大第四内科でお世話になった先生方と本院で一緒に働かせてもらえることになり大変心強く思いますし、また大きな縁を感じています。

大学での経験を活かしながら、皆さんの力をお借りして本院の理念に沿った発展に貢献できればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



外科系  
包括的治療センター長  
**長谷川 格**

この度4月1日付けで、東札幌病院に着任致しました。

昭和56年に札幌医大を卒業し、外科学第一講座に入局後、何カ所かの病院勤務を経て、平成元年4月に前々任地の済生会小樽病院に勤務となりました。以来約29年間小樽にいました。元々小樽は故郷で幼稚園から高校の途中(小樽潮陵高校から札幌西高校転校)まで住んでいました。その後平成29年10月に北海道社会事業協会函館病院に転勤となり、初の単身生活を3年半ほど送りました。専門は、消化器外科・一般外科で特に内視鏡外科を専門にしております。

函館在職中は手術の執刀は部下に任せ、

私は療養・障害・回復期リハビリ病棟の患者さんを診ながら院長職をこなしていました。久しぶりの急性期になりますが、東札幌病院の理念に基づき貢献できればと考えています。皆様のご指導よろしく願いいたします。



歯科医師  
**清水 達哉**

はじめまして。本年度から歯科口腔外科に着任いたしました清水達哉と申します。

北海道大学歯学部を卒業後、1年間同大学の第一口腔外科で研修医を行いました。その後第一口腔外科の大学院に進学し、1年間病棟外来を経験したのち、3年間基礎研究を行い、今年の3月に大学院を修了いたしました。研究としては、「Osteocytes as main responders to Low Intensity Pulsed Ultrasound for the treatment of fracture healing」というテーマで研究してきました。話は変わりたくし事ですが、趣味は小学校から続けてきた野球、ここ数年少しずつ始めたゴルフ、カラオケ、お酒、etc.です。コロナの影響で日々の飲み会や送別会、歓迎会等もなく、カラオケにも行けないのは非常に残念でありませんが、今はいつか明るい未来が来ることを信じて粛々と仕事に邁進したいと思います。着任してまだ日が浅いですが、上司の先生方や歯科衛生士の方々、医師や看護師の方々に助けていた

だいて、何とかこんとか乗り越えて行けています。特に当科の特徴としては、道内でも特に上下顎の顎変形症の症例は多く、若年者の方はもちろん、かみ合わせに悩む幅広い年齢層の方々のニーズに対応しています。また、地域の患者さんのための一般歯科診療はもちろんのこと、がん患者さんの周術期における口腔機能管理や終末期における口腔ケアにも力を入れております。当院の【医療本質はやさしさにある】という理念を自分も体現できるように、患者さんのみならず、関係者の皆さんに対して、日々思いやりを持って行動したいと思います。当院にて多くのことを学び、歯科医療を通して全身の健康に寄与し、少しでも当院に貢献できるように精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願い致します。

気軽に歯科外来に顔を出していただけるとありがたいです。

今後ともよろしく願いいたします。



消化器外科科長  
**岩山 祐司**

今年の4月より着任しました外科の岩山です。手術治療を必要とするお腹からお尻の病気や、乳がん等の乳房にかかわる病気の治療を専門としています。

前任地は、同時期に異動してきた長谷川センター長と同じ函館の病院でした。函館市は、皆様ご存じのように全国でも有名な観光都市であり、函館山から見下ろす夜景、桜が開花した時期の五稜郭公園、啄木公園がある海岸線の漁火通りは記憶に残る美しさでした。しかし、新型コロナの影響によって年間数百万人が訪れるこの街が、去年は嘘のように閑散としており、なんとか今後盛り上がってほしいと期待しております。

一方で私はこれまでに木古内町、江差町、羽幌町、滝川市と様々な地域で医療に携わることができました。函館市と同様にそれぞれの勤務地での観光のみならず、地域の方と医療を介したふれあいをすることができたと感じます。しかし患者様の最期のお看取りに至る経過でもう少し違ったことができたのではと思う場面も経験してまいりました。

4月から仕事を始めて間もないですが、他の病院と比較して東札幌病院における緩和ケアの体系化および、医療スタッフの知識や経験が強化されていると感じております。その中で、私も微力ながら役に立ちたいと考えております。皆様よろしく申し上げます。

内科医師  
**渡邊 晃一**

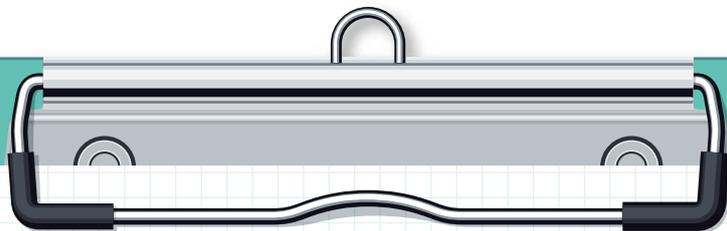
4月より留萌市立病院から赴任いたしました渡邊です。

この度消化器内科のほか、血液内科、緩和ケア科、腫瘍内科で働くこととなっております。これまでは消化器内科を中心に勤務しており、急性期が中心であったため当院のように緩和ケアに力を入れている施設での勤務はなく至

らぬことも多々あるとは思いますが、多くのことを学ぶことができると思います。

できるだけ患者さんの希望に沿った医療を提供できるよう精一杯務めさせていただきます。

何卒宜しくお願いいたします。



## SCPSC2022 経過報告

# がん緩和ケアに関する 国際研究学会 (SCPSC 2022) の準備について

東札幌病院 内科・副院長  
SCPSC実行委員長

日下部 俊朗

現在、2022年7月に行われるがん緩和ケアに関する国際研究学会 (SCPSC2022) の開催の準備を行っています。当初、第3回SCPSCは2020年7月に予定していましたが、おもしもCOVID-19流行の影響を受け、2022年7月に2年延期となりました。また、第4回SCPSCと合同開催とすることとし3日間の開催となり、当初予定よりもプログラムをさらに充実させる必要がございました。企画段階ではさまざまな議論がございましたが、第3回大会長の照井健先生、第4回大会長の三宅智先生、石谷邦彦理事長のご尽力のもと、このたびプログラムを皆様にお披露目することができました。

当初予定していましたが「オピオイドとがんの痛み」、「臨床腫瘍学と緩和ケアの統合」、「スピリチュアル・ケア」、「サイコオンコロジー」の各テーマに加えて、COVID-19流行下における緩和ケアの新たな話題や、安楽死・医師による自殺補助に関するテーマも追加いたしました。また、前回好評でございましたワークショップ「進行がん患者の人生の意味に焦点を当てた精神療法 (MCP)」も予定しています。

近年、インターネットなどの情報技術を活用したケア (TEC; Tecnology Enabled Care) が目覚ましい進歩を遂げていますが、このたびのCOVID-19の影響を受け、「がん緩和領域の診

療」において注目されています。そこで、第3日目午前にはプレナリーセッション「情報と伝達の技術が導入される緩和ケア (Technology-enabled palliative care) の現状と将来」として予定いたしました。

また、第3日目午後にはシンポジウム「安楽死・医師による自殺補助と緩和ケア、その本質的な議論に臨む」のテーマで、近年本邦でも問題となりつつある安楽死に関して世界の現状と問題点も含めて幅広く議論する予定です。

SCPSC 2022では、世界のがん緩和ケア各領域のExpertの先生方からご講演をいただく予定となっており、参加者も国内のみならず世界20カ国以上からの参加を予定しています。現在、この学会をさらに充実させ、皆様に気持ちよく参加していただけますよう準備を進めています。

世界中で新型コロナウイルスワクチンの接種が進行するとともに、接種率の高い地域ではCOVID-19新規発症者が急速に減少しています。まだ予断は許さない状況ですが、学会では参加者の皆様の安全・安心に十分配慮させていただきます。

2022年7月には札幌で皆様とお会いできますよう、準備を整えてお待ちしております。

# 外来医師スケジュール

(2021年4月1日～)

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	1診	日下部	平山	鳥本	平山/小野	日下部	交代制
		2診	石谷	石谷 9:00~11:00	石谷	三原	三原	
		3診	久村	伊藤	渡邊(奈)	長岡		
		4診	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	
		5診	高木	古谷	高木	秋津 (禁煙外来) 11:30~12:00	秋津 (禁煙外来) 11:30~12:00	
		6診	鳥本	呼吸器内科 (出張医)		鳥本		
		7診	長谷川	大村	岩山	大村	長谷川	
		8診	伊達		伊達	井須	整形外科	
		9診			佐藤 (病をよく識る外来)		西山 (セカンドオピニオン外来)	
		内視鏡	伊藤	長岡	日下部	渡邊(奈)	安保	
		腹部エコー				三谷		
		口腔外科	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午後	14:00~17:00	1診	三谷 13:30~	小野	平山	町野	三谷	休診
		2診		札幌大出張医 13:30~	札幌大出張医 13:30~	札幌大出張医 13:30~		
		3診	長岡	渡邊(奈)	渡邊(晃)	伊藤	渡邊(晃)	
		4診	中村		町野		中村	
		5診	秋津	渡邊(晃)		高木	脳神経内科 (出張医)	
		6診						
		7診	外科担当医 (手術のため緊急対応のみ)	大村	大村	外科担当医 (手術のため緊急対応のみ)	岩山	
		8診		井須	井須	伊達		
		内視鏡	渡邊	日下部	長岡	札幌大出張医	伊藤	
	13:30~17:00	口腔外科	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	水越/太子 石谷/清水	
14:30~16:30	発熱外来	三原	三谷	西山	三谷	西山		

※外来受付時間 月曜日~金曜日8:30~17:00 土曜日8:30~12:00

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※禁煙外来(要予約) 木曜日・金曜日11:30~12:00 担当医師:秋津

※病をよく識る外来(要予約) 水曜日9:00~12:00 担当医師:佐藤

※セカンドオピニオン外来(要予約) 金曜日9:00~12:00 担当医師:西山

※石谷外来 火曜日9:00~11:00

※整形外科外来 木曜日 第1・3・5週 井須、第2・4週 札幌大出張医

※外科外来は、手術等により診療時間が変更となる場合があります。

※緊急対応等に備え、内科医師1名は13:30から待機いたします。

※当院では、新型コロナウイルスの疑い例に該当しない患者さんを対象に発熱外来を開業しています。密を避け、感染の可能性を可能な限り避けるために、受診は予約制とします。また、受付、診察、会計は特設専用外来で行います。詳細は011-555-3167までお問い合わせください。



医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院2 3rdG: Ver.1.1）、付加機能（緩和ケア機能）の認定を受けています。

■認定期間  
2015年9月26日～2020年9月25日  
※現在、認定更新審査中



日本医療機能評価機構  
認定第 JC669 号  
一般病院2 3rdG:Ver.1.1



●交通のご案内  
地下鉄東西線「東札幌駅」より  
徒歩5分

#### 駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

#### ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です（以後30分50円）。

Higashi Sapporo Hospital

## 医療法人 東札幌病院

〒003-8585  
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35  
電話 011-812-2311 (代表)  
FAX 011-823-9552  
E-mail: info@hsh.or.jp  
HP: <http://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。